

## 平成 29 年度第 2 回

### 鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会

日時：平成 30 年 2 月 21 日（水）午前 10 時～

場所：鶴岡市総合保健福祉センター

にこ♥ふる 大会議室

#### 《次 第》

1 開 会

2 挨 拶

3 意見交換等

(1) 平成 29 年度コミュニティ施策の取組状況について

(2) 事例発表

新海町町内会                    会長            畑山 孝一 氏

三瀬地区自治会                事務局長      竹内 秀一 氏

(3) その他

4 その他

5 閉 会

## 鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会委員名簿

資料0-0

	氏名	役職	備考
1	保科 梧郎	鶴岡市町内会連合会理事	
2	照井 和	鶴岡市消防団副団長	
3	半澤 活	鶴岡市社会福祉協議会 事務局次長兼地域福祉課長	
4	成田 勇	鶴岡市社会教育委員長	
5	清野 康子	鶴岡市生涯学習推進員	
6	砂山 元	鶴岡市大鳥自然の家所長	欠席
7	林 雅秀	山形大学農学部准教授	欠席
8	武田 真理子	東北公益文科大学教授	委員長
9	齋藤 建	鶴岡市藤島地区自治振興会会長	副委員長
10	奥山 康光	有限会社 田和楽 代表	
11	早坂 一広	出羽三山精進料理プロジェクト副代表	欠席
12	菅原 一幸	楡引自治公民館連絡協議会副会長	
13	小関 祐二	六十里越街道会議会長	
14	佐藤 美代子	温海地域女性団体連絡協議会会長	
15	小池 憲夫	鶴岡市大泉地区自治振興会事務局長	
16	五十嵐 丈	鶴岡まちづくり塾温海グループ	欠席

## 鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会幹事名簿

資料0-1

	所 属	職名	氏 名	備考
1	市民部	部長	佐藤 茂巳	
2	政策企画課	課長	永壽 祥司	
3	地域振興課	課長	佐藤 光治	
4	防災安全課	課長	増田 亨	
5	環境課	課長	東海林 敦	欠席
6	廃棄物対策課	課長	佐藤 正胤	
7	健康課	課長	五十嵐 英晃	
8	福祉課	課長	齋藤 秀雄	
9	長寿介護課	課長	佐藤 正直	
10	農政課	課長	武田 壯一	欠席
11	商工課	課長	森屋 健一	代理 菅原 青主査
12	土木課	課長	上野 衛	欠席
13	藤島庁舎総務企画課	課長	菅原 司	
14	羽黒庁舎総務企画課	課長	伊藤 義明	
15	櫛引庁舎総務企画課	課長	佐藤 浩	
16	朝日庁舎総務企画課	課長	土田 浩和	
17	温海庁舎総務企画課	課長	五十嵐 浩一	
18	消防本部警防課	課長	三浦 幸喜	
19	教育委員会学校教育課	課長	尾形 圭一郎	欠席
20	教育委員会社会教育課	課長	鈴木 晃	

## 事務局

## コミュニティ推進課

職 名	氏 名
課長	渡邊 健
課長補佐	金内 房夫
主査	佐藤 智子
コミュニティ専門員	加藤 明
専門員	渡部 久美子
主事	斉藤 友香
主事	加藤 意挑

## 地域庁舎総務企画課

所属職名	氏 名
藤島庁舎総務企画課コミュニティ防災専門員	工藤 仁
羽黒庁舎総務企画課コミュニティ防災主査	成沢 結花
櫛引庁舎総務企画課主任	菅原 央
朝日庁舎総務企画課コミュニティ防災主査	渡部 宏一
温海庁舎総務企画課課長補佐	齋藤 充

## 市のコミュニティ施策について

「鶴岡市地域コミュニティ推進計画」について、引き続き周知に努めるとともに、推進計画に基づく地域主体の地域づくりに向けた取組の支援を行い、地域コミュニティの維持、活性化を図る。

### 1. 平成29年度の取組状況について

#### (1) 鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会の開催

地域コミュニティ推進計画に基づく各地域での取組や市の支援策について、意見聴取を行った。

◇第1回 9月29日(金)開催

◇第2回 2月21日(水)開催

※2回目は、地域ビジョン策定に向けた取組と身近な地域課題に住民自らが取り組む仕組みづくりについて事例発表を頂く。

#### (2) 地区担当職員制度の推進

81地区の広域組織、単位組織に228名を配置し、班長を中心に地域の事情に合わせ活動を行っており、地区担当職員が受持ちの地区へ出向き地域の現状や課題把握に努め情報共有を図るとともに、地区担当職員のスキルアップを図るための研修を実施した。

《各地域の活動状況 資料2参照》

#### 【職員のスキルアップについて】

##### ◇ ファシリテーション研修

6月1日(木)、2日(金)開催 67名受講

対象 地区担当職員初任者

講師 NPO法人 日本ファシリテーション協会 フェロー 加留部 貴行 氏

・ファシリテーションの理論と手法

・ワールドカフェの体験

##### ◇地区担当職員合同研修会

12月20日(水)開催 41名受講

対象 地区担当職員、市担当職員

コーディネーター

一般社団法人 とちぎ市民協働研究会 代表理事 廣瀬隆人 氏

・事例発表 地区担当職員の活動について

鶴岡地域、朝日地域、温海地域の活動事例について

・ワークショップ

「地区担当職員の役割、事例から学んだこと、地区担当職員としての悩み」

### (3) 広域コミュニティ組織の育成・支援

広域コミュニティ組織は、市内に33組織(鶴岡地域21、藤島地域5、羽黒地域4、朝日地域3)あり、各組織に広域コミュニティ組織運営・地域づくり交付金を交付し、組織運営の支援や地域事情に応じた様々なコミュニティ活動を支援するとともに、各種研修会等の実施及び情報提供のほか、地区の状況や組織の運営、活動状況について見聞きしながら相談活動を行うなど組織の育成及び機能強化に取り組んだ。

また、各地域の広域コミュニティ組織連合組織の会議等に参加し、市からの情報を提供しながら、運営や研修等にも支援を行った。

#### ◇地域づくりワークショップ支援事業

地域住民の対話を促進するために、広域コミュニティ組織が主体となり、地域の現状や課題について、住民自らが把握、整理する取組や課題解決に向け、地域が主体となり取り組むワークショップなどの開催を支援した。

対象事業 地域の子どもたちを対象にしたワークショップ、地域ビジョン策定に向けたワークショップ等

※今年度は、三瀬地区と加茂地区の地域ビジョン策定に向けたワークショップ開催を支援している。

### (4) 住民自治組織ステップアップ事業による支援

単位自治組織や広域コミュニティ組織が地域の特色に応じた事業や地域の課題を解決するために取り組む新たな事業を支援する。

採択17件 \*資料1-2 参照

#### 【まち・ひと・しごと創生推進事業枠】

- ①地域ビジョンを策定のうえ、ビジョンに基づき取り組む事業…2件
- ②地域資源を活かしたコミュニティビジネスへの取組…1件
- ③地域の青年・女性対象ワークショップ開催と事業への取組…4件

### (5) 単位自治組織の維持と負担軽減に向けた支援

世帯数や条件不利地域に配慮した住民自治組織総合交付金を交付し、各自治組織の特色を活かし、地域事情に応じた交付金の活用を促進するとともに、活動拠点の整備については、公民館類似施設整備費補助金による支援や各種補助制度等の情報を提供し、単位自治組織の維持、運営を支援している。

◇公民館類似施設整備費補助金…申請7件

### (6) 生涯学習の推進

コミュニティセンター、地域活動センターを拠点として活動する広域コミュニティ組織に広域コミュニティ組織運営・地域づくり交付金を交付し、広域の活動拠点を

持たない櫛引地域と温海地域には、公民館類似施設運営・活動費補助金により地域における生涯学習を支援している。

また、コミュニティセンター等を活動拠点に、住民の多様な学習活動や交流活動など事業をまとめた「生涯学習事業記録」を作成・配付するとともに、広域コミュニティ組織等の地域に生涯学習推進員を配置し、運営組織(コミセン等事務局)等と連携を図りながら、地域の状況に合わせた効果的な事業展開が図られるよう、生涯学習推進員、生涯学習関係職員を対象とした研修会を開催した。

◇生涯学習推進員・生涯学習関係職員合同研修会

12月19日(火)開催 63名参加

対象 生涯学習推進員、広域コミュニティ組織関係職員

講師 一般社団法人 とちぎ市民協働研究会 代表理事 廣瀬隆人 氏

内容 講演「地域の将来を担う青少年を育む生涯学習活動について」

ワークショップ「地域の強みを活かした事業の企画」

(7)各種研修等の実施について

◇住民自治組織代表者研修会

7月24日(月)開催 58名参加

全市の住民自治組織の代表者が一堂に会し、コミュニティの課題や取組、防災について情報共有を図った。

- ・事例発表 「地域を元気に！松根塾10年間の取組」

松根塾塾長 成田 勇氏(櫛引区長会会長・松根地区自治会長)

- ・講演 「災害時に備え、今必要なこと・・・」

講師 防災安全課 主査 鈴木 英昭氏

◇住民自治組織合同研修会「つるおかみらいフォーラム」

9月15日(金) 開催139名参加

地域の特色を活かしながら住民主体による持続可能な地域づくりを実現するために、身近な事例を通し、地域課題の共有や課題解決の手法を学ぶとともに、主体的に地域づくりに取り組む意識の醸成を図った。

- ・事例発表…ステップアップ事業補助金を活用した取組について

「さんぜスノースーパーの活動と除雪を介した「労力交換」事業」

三瀬地区自治会 事務局長 石塚 慶 氏

「越沢自治会活性化に向けた取組み」

越沢自治会 会長 大滝 由吉 氏

- ・講演

「住み続けたい地域づくりのために“いま”からできること」

東北公益文科大学 教授 武田 真理子 氏

◇住民自治組織課題別研修会

11月27日(月)開催 31名参加

住民主体の持続可能な地域づくりを実現するために、住民の対話を促進し、地域の現状把握、課題解決等に向けた人材育成を目的としてファシリテーター研修を実施した。

対象 広域コミュニティ組織等関係者、地域づくりを実践している方など

講師 NPO法人 日本ファシリテーション協会 フェロー 徳田太郎氏

内容 みんなが参加できる会議の進め方を学ぼう！

～ファシリテーションのスキルとところ～

## 2. 平成30年度の取組について

「鶴岡市地域コミュニティ推進計画」に基づく地域主体の地域づくりに向けた取組の支援を行い、地域コミュニティの維持、活性化を図る。

### ◇鶴岡市地域コミュニティ活性化推進委員会の開催

[開催回数] 年2回（予定）

[内容]

計画の中間年として、地域コミュニティ推進計画の進捗状況の確認を行い、現状把握と課題を押さえたうえで、市の支援策についての検討、意見聴取を行う。必要に応じて関係各課で構成する幹事会を開催し、関係施策の検討を行う。



## 平成29年度鶴岡市住民自治組織ステップアップ事業補助金（第1回目） 採択一覧

番号	応募事業名	応募団体名	地域	事業概要
1	七日町だるま活性化プロジェクト	七日町町内会	鶴岡	七日町町民により維持・斎行してきた「七日町観音堂だるま祭り」をツールとして町内全体の賑わいを創出するとともに、28年度のプロジェクトで協力者となった次世代の担い手となる青年層を中心に、ワークショップにより企画・運営を行うことで意識醸成・人材育成を図る。
2	創立50周年あゆみ誌編纂 発刊事業	みどり町町内会	鶴岡	みどり町町内会設立50周年を記念し、これまでの歴史や功績を再確認するとともに、未来創生に向けまちづくりの指針の一助とすることを目的に、記念誌「50年のあゆみ誌」を発行する。住民や出身者の寄稿、50年の足跡、未来への展望等の内容で作成し、共通認識の醸成に繋げる。
3	あつみ温泉「移住・定住」体験ツアー	温海温泉自治会	温海	あつみ温泉移住・定住促進事業の一環として、あつみ温泉地域のファン作りや定住人口の増加を目的として、視察・体験・交流を通して地域の魅力・生活を実感できる体験ツアーを実施する。
4	越沢の魅力、発見・みがき・活用事業	越沢自治会	温海	平成28年度に作成した地域ビジョンに基づき、写真コンテスト及び入賞作品を活用したカレンダー等の作成・検討により、住民の地域に対する誇り・自信・愛着の醸成、活気に満ち溢れた豊かな地域づくりに貢献する。
5	第一学区学んで育てるまちづくり	第一学区コミュニティ振興会	鶴岡	第一学区の町内会や各種団体が連携し、防災やまちづくりをテーマとしたワークショップを開催することで、子どもたちを含めた人材育成を進めるとともに、課題解決のための専門的なスキルや知識を身に付けた地域共創コーディネーターを育成することで効果的な事業の継続を図る。
6	自治組織「労力交換」交流事業	三瀬地区自治会	鶴岡	人口減少・コミュニティの希薄化により事業運営が困難になりつつある状況下において、自治会事業における他地域とのスタッフの相互派遣を行うことにより、労力確保だけでなく、情報や手法等を学ぶことで、参加マインドの向上を図る。
7	朝日南部地区を担う次世代が未来を描く事業 「おらほのしよ、ろんろんでゆう」	朝日南部自治会連絡協議会	朝日	世帯主の子世代が10年先・20年先の生き方や地域の未来について考え、現状を理解するとともに課題解決の糸口を見出すことを目的に、ワークショップや未来を描く講演会、ふりかえりを実施し、地域課題に取り組むための指針を作成する。

平成29年度鶴岡市住民自治組織ステップアップ事業補助金（第2回目） 採択一覧

番号	応募事業名	応募団体名	地域	事業概要
1	錦町町内会創立50周年記念事業	錦町町内会	鶴岡	錦町町内会設立50周年を記念し、これまでの歴史や活動等を記録に残し、今後の町内会の発展に活用することを目的に、実行委員会を主導に記念誌を発行する。完成した記念誌は全戸配布し、情報の共有と一体感の増加を図る。
2	お互いが支え合って生きる「共生」のまちづくりⅢ	新海町町内会	鶴岡	平成27年度より取り組んできた組織改変の住民理解を進めるとともに、地域内の協力者・理解者を増やし活動を発展させていくため、若者を対象とした研修やワークショップ、隣組を対象とした体制の現状把握や課題解決に向けた実践を行う。
3	集落史の継続調査と調査資料の保存及び追録の発行	上山添地区自治会	榊引	平成26年度より調査・収集を行ってきた集落史について、より多くの史実を後世に伝え、今後の集落自治の振興に活かしていくことを目的に、文書目録および史誌の追録を発行する。
4	鈴カラ竹利用促進事業	鈴自治会	温海	竹林整備や高齢者の生きがいづくりの一環として取り組む鈴カラ竹を素材とした竹細工について、将来的にコミュニティビジネスにつなげていくことを見据え、技術のレベルアップを図る。
5	第三学区史跡・マップ・文化財に関するマップ説明看板・パンフレット資料作成事業	第三学区コミュニティ協議会	鶴岡	地域内の歴史資源や郷土の良さを再確認し、地域活力の向上や魅力づくりにつなげるため、第三学区の文化財・史跡のマップ看板およびパンフレットを制作し、住民の生涯学習の機会や郷土愛を育む場を提供する。
6	第六学区町内会防災マップ作成配布	第六学区コミュニティネットワーク	鶴岡	町内会毎に町歩きを実施し、住民の視点で気付いた危険箇所等を記載した防災マップを制作する。住民の防災意識の改善を図るとともに、防災についての話し合い・意思疎通を促す。
7	"脳いきいきフレッシュ枝豆"塾	大泉地区自治振興会	鶴岡	住民が主体的に認知症を予防する意識と体づくりを促すため、講義とデュアルタスクの軽運動を組み合わせた塾を開催する。気軽に楽しみながら参加できるプログラムとすることで、多世代交流も図る。
8	藤島地区地域ビジョン達成事業の推進（第1期）	藤島地区自治振興会	藤島	平成28年度に策定した「地域ビジョンと第1次地域づくり5ヶ年計画書」に基づき、優先度の高い「困りごと」の事業として、「小学生夏休み宿題塾」、「玄関先除雪サービス」の2事業を実施する。
9	長沼小学校跡地利活用の調査研究	長沼地区自治振興会	藤島	平成30年3月末で閉校する長沼小学校の跡地の利活用について、長沼活性化委員会を立ち上げ、地区をあげて調査研究に取り組む。住民を含め報告会や懇談会等を実施し、地域全体の共通認識を図る。
10	手向LINEスタンプ制作事業	手向地区自治振興会	羽黒	手向の魅力発信を目的に、スマートフォンのコミュニケーションアプリ「LINE」で使用できるLINEスタンプを制作する。若手住民を中心に制作・普及活動を行うことで、地域への関心を深めるとともに、地域で活躍する場を創出する。

## 鶴岡市地域コミュニティ推進計画の推進に向けた取組について

(平成30年1月末現在)

地域名		鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海
住民自治組織	単位自治組織	市街地 101、郊外地 146	61	69	21	38	27
	広域コミュニティ組織	市街地 6、郊外地 15	5	4	なし	3	(4) 拠点施設がなく主に生涯学習事業を実施
住民自治組織の取組	Q1. 地域ビジョン策定に向けた取組について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加茂地域ランドデザイン検討委員会を立ち上げ、地域の現状理解のための研修会とワークショップを開催（加茂）</li> <li>・地域づくりと担い手についての研修会や小単位のワークショップを開催（三瀬）</li> <li>・地域づくり研修会を年2回開催し各町内会の取組事例の発表を実施（六学区）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域づくりについての研修会を開催し、地域ビジョン策定に向けて意識を高めた。（東栄）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例の地区区長会定例会に自治振興会職員が参加し、情報の共有を図っている。（手向・広瀬地区）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『地域づくり懇談会』の選択テーマの中に地域コミュニティについて考える項目を入れ、地区役員や住民と地区の現状を共有し、ビジョン策定に向けた働きかけを行っている。</li> <li>・『地域おこし協力隊』導入に伴い、地区内の住民と意見交換を行い、地域ビジョン策定の作業を進めている。（宝谷）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝日南部自治会連絡協議会で住民自治組織ステップアップ事業補助金を活用し、ワークショップ・研修会を開催し、振り返りと共に、地域ビジョン策定にむけた検討を行う予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過疎地域集落対策事業を実施した10集落については、集落振興ビジョンを策定済。</li> <li>（23年度…暮坪、安土、木野俣、24年度…模代、小名部、山五十川、25年度…鍋倉、関川、小国、峠ノ山）</li> <li>・平成28年度に越沢自治会で活性化委員会を立ち上げ、アンケート調査やワークショップ等を行い活性化ビジョンを策定した。</li> </ul>
	Q2. 課題解決に向けた取組について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の各種団体が連携したワークショップの開催や課題解決のための知識やスキルを身に付けたコーディネーターとなる人材を育成（一学区）</li> <li>・学区内の組織の再編を検討（二学区）</li> <li>・災害対応のクロスロードワークショップを開催し、多様な考えや意見を交わし互いの理解を深めた。（上郷）</li> <li>・自治会事業において、他地域とスタッフの相互派遣により、労力確保と情報交換により参加マインドの向上を図った。（三瀬）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度に策定した地域ビジョンに基づき、課題解決のための取組を実践している。（藤島）</li> <li>・交通空白地帯の解消に向けてアンケートを実施した。また、長沼小学校閉校に伴い、跡地利用について地域で検討会を開催し、市に意見書を提出した。（長沼）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区区長会で各集落の問題を挙げ、市に要望書を提出した。次年度以降は地区自治振興会で協議し、地区の課題として検討する予定。（第四地区）</li> <li>・関係団体とともに、門前町歴史まちづくり事業（外壁の塗装等）を実施した。（手向）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区担当職員制度により、単位自治組織毎に地域づくり懇談会を開催し、課題の掘り起し、課題解決に向けた話し合いを進めている。</li> <li>・複数の地区で自主防災組織の再編等の見直しなどに取り組んでいる。</li> <li>・H29年度櫛引区長会において、岩手県北上市岩崎地区の協働のまちづくりコミュニティ施策について研修し、広域コミュニティや指定管理の現状を聞き取り、地域計画策定に向けた特徴的な取り組みなどを学んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あさひの夢をかだろう会」（社会福祉協議会主催・広域コミュニティ組織後援）を開催し、事例発表・講演・パネルディスカッションを通じて、課題や取組について、住民と伴に共通理解を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区担当職員制度により、各自治会で集落活性化懇談会を開催し、課題解決に向けた話し合いを進めている。</li> <li>・その中には、ステップアップ事業を活用した取組みが行われている自治会もある。</li> <li>・自治会として集落の課題を把握し、一日研修会のテーマにする等、課題解決に向けて取組んでいる</li> <li>・地域ビジョンに基づいた事業を実施し、住民参加と地域の絆を深め、次世代に豊かな住みよい集落を繋ぐ取組を始めている。（越沢）</li> </ul>

鶴岡市地域コミュニティ推進計画の推進に向けた取組について

(平成30年1月末現在)

地域名		鶴岡	藤島	羽黒	楡引	朝日	温海
行政の取組	Q3. コミュニティ活動の支援について	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種コミュニティ活動に関連する助成制度や鶴岡地域の活用事例について一覧にまとめ、各コミセンへ周知している。</li> <li>広域コミュニティ連合組織の会議等で市のコミュニティ支援（研修会への講師派遣や市の助成制度等）について説明</li> <li>ステップアップ事業補助金や地域づくり交付金等の活用の相談</li> <li>地域づくり研修会、ワークショップ開催の支援（職員、講師の派遣）…六学区、三瀬、加茂</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会長連絡協議会に助成し、各種コミュニティ活動や研修会の開催を支援している。（研修会は、広域コミュニティ組織関係者も参加している。）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地区区長会で「地域コミュニティ推進計画」について説明した。</li> <li>コミュニティ活動に関連する助成制度等の情報の周知を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種コミュニティ活動に関連する助成制度や補助金等について、情報提供と活用の相談を行い、活用事例などの紹介をしている。</li> <li>自治会が企画、実施する講座等について、相談への対応や連絡調整を行っている。</li> <li>『地域おこし協力隊』や『防犯パトロール』（青パト）など新規事業に向けての情報提供や相談等を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種コミュニティ活動に関連する助成制度について、各コミセンに周知している。</li> <li>朝日地域自治振興会連絡協議会に助成し、地域内課題への取組を支援している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種コミュニティ活動に関する助成制度を一覧表にまとめ、毎年4月の自治会長会議で情報提供し、随時相談等に対応している。</li> </ul>
	Q4. 地区担当職員の活動状況概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民自治組織が行う地域づくり研修会へ参加し、ワークショップの支援や情報共有に努めた。（一学区、二学区、六学区、上郷、三瀬、加茂）</li> <li>評議員会、理事会等の会議や懇談会へ出席し、地域の状況把握に努め、地域から出された課題等を担当課へ繋いだ。（二学区、三学区、斎、小堅）</li> <li>地域の新規事業の企画・運営に協力。（六学区）</li> <li>*その他、班長が、年度当初に住民自治組織と活動内容等について打合せを行い行事等へ参加したり、内部においては、班長会議を2回開催し、各地区の活動状況や課題等について情報交換を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地区自治振興会理事会や評議員会に出席し、問題意識の共有と課題の把握に努めている。</li> <li>出された課題や要望等は、担当課に照会し、対応を依頼している。（地区単位の活動内容）</li> <li>自治振興会として初となる防災訓練を実施し、地区防災計画策定について検討を進めた。（東栄地区）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自治振興会評議員会に出席し、活動内容等について情報を共有した。（手向・泉・広瀬・第四地区）</li> <li>自治振興会が開催する研修会に参加し情報を共有した。（広瀬地区）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>班長会議を開催し、懇談会実施に向けた打ち合わせやテーマについて情報共有を図っている。</li> <li>自治会が開催する会議や懇談会に参加し、情報共有を図ったり、行政施策の情報提供や意見収集を行い、担当部署へ引継ぎしている。</li> <li>21地区中13地区で地域づくり懇談会を開催。年度末までは全地区で開催予定。</li> <li>「懇談会内容の例」</li> <li>○楡引公民館の指定管理者制度の導入について説明し、地域コミュニティについて意見交換</li> <li>○ワークショップを開催し、地区の未来について意見交換</li> <li>○スキー場存続に向けた地区としての取り組みを話し合う 他</li> <li>※地区のイベントや祭りに参加し、運営や現状把握に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地区で開催される住民懇談会に出席し、地区の状況を把握した。</li> <li>「あさひの夢をかだろろう会」の運営スタッフとして、地域づくりの取組みに協力した。</li> <li>先進地視察（六コミ・木野俣）を実施し、地域づくりへの見識を広めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単位自治組織27自治会に、庁舎職員46人（支所長除く）を配置している。</li> <li>班長会議（14人）を開催し、平成29年度温海庁舎集落活性化懇談会実施要綱を配布し、懇談会での話し合いのテーマとするよう説明している。</li> <li>班長が自治会長と相談し、集落活性化懇談会の開催日時、話し合いの内容について打合せしている。</li> <li>地区担当職員が、集落活性化懇談会に出席し、地域の実状把握と情報交換を行っている。</li> <li>[主な開催テーマ]</li> <li>・集落の現状に関する意見交換と棚田活用の提案について</li> <li>・集落の世帯数と人口の推移について</li> <li>・閉校舎の跡地利活用について</li> <li>・人口減少対策について</li> <li>・介護保険制度について</li> </ul>
Q5. 今後必要な支援等について	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域ビジョン」策定に向けた取組を推進するため、地域づくりワークショップ開催等の支援。</li> <li>地域の人材育成を目的としたファシリテーター養成の助成、または研修会の実施。</li> <li>地区担当職員を対象としたファシリテーション研修や地域での取組の情報共有を目的とした研修の実施。</li> <li>地域の取組事例について紹介。（HP活用、研修会の実施）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で行う研修等への講師派遣等の支援</li> <li>「地域ビジョン」策定に向けた取組を始めているところがあり、地区で講師を招いた研修会やワークショップ開催希望の声がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域ビジョン」策定に向けた取組を推進するため、自治振興会対象のワークショップ等研修の支援。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種コミュニティ助成事業や補助金を活用した事例の紹介。（研修会、事例集）</li> <li>地区担当職員を対象とした他地域での取り組み事例の情報提供と意見交換。</li> <li>地域づくり、人材育成などの活動が盛んな先進事例の研修。（講師派遣、研修会の開催、交流事業の開催）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種コミュニティ助成事業や補助金を活用した事例の紹介。（研修会、事例集）</li> <li>地区担当職員を対象とした他地域での取り組み事例の情報提供と意見交換。</li> <li>地域づくり、人材育成などの活動が盛んな先進事例の研修。（講師派遣、研修会の開催、交流事業の開催）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域ビジョン」策定に向けた取組を推進するため、自治組織でワークショップが開催できる（講師謝礼等）の支援が必要。</li> <li>地域の人材育成を目的としたファシリテーター養成の助成、または研修会の実施。</li> <li>地区担当職員を対象とした先進地域での取組の視察や情報共有を目的とした研修の実施。</li> <li>単位自治組織への人的支援を可能にする事業の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民のファシリテーター養成の支援</li> <li>地域振興ビジョン策定に向けた支援</li> </ul>